

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

## 社会科学 No.2

### 医療費はなぜ増えるのか —— 診療報酬・保険制度・高齢化を経済学で読む

★ 清光学院の講師は、医療経済学・社会保障政策を専門とする大学教員として、診療報酬制度・医療費抑制政策の研究に携わってきた当事者です。日本の医療費が増加する構造的要因を経済学と政策の両面から深く知っています。

#### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

##### ① 医療費・社会保障を問う小論文

「日本の医療費増加問題についてあなたの考えを述べよ」という小論文は医学部で頻出である。診療報酬・高齢化・技術革新という3つの要因を経済学的に論じられる受験生は、深みのある答案を書ける。

##### ② 医療制度・政策を問う問題

「国民皆保険制度の意義と課題を論じよ」という問いは、医学部・公衆衛生系の定番である。保険制度の仕組みを経済学的に理解している受験生は、制度の本質から論じられる。

##### ③ 「医師として社会に何を貢献するか」型の面接

「医療費問題についてどう思うか」という面接質問に、経済学的な視点で答えられる受験生は、試験官に社会的視野の広さが伝わる。

#### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
医学部全般（小論文）	医療費・社会保障制度を論じる問題	経済学的視点が論述に深みと説得力を与える
医学部推薦・総合型選抜（面接）	「医療制度の問題点は何か」型の問い	診療報酬・保険制度の知識が具体的な論述を可能にする
公衆衛生・保健学部（全般）	医療政策・費用対効果を論じる問題	医療経済学の枠組みが政策論議の根拠を与える
地域枠・地域医療推薦	地域医療の持続可能性を問う問題	医療費構造の理解が地域医療政策論に直結する

#### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

「高齢化で医療費が増えています」だけでは採点者に深みが伝わらない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）医療費増加の構造的要因を3つの観点で説明できる、（2）診療報酬制度の仕組みを経済学的に論じられる、（3）面接で医療制度の課題を政策的視点から語れる、という変化が起きる。

医療経済学を専門とする清光学院の講師陣は、医学系入試で「表層的な答案」と「経済学的構造を踏まえた答案」の評価の差を採点者として知っている。その実感が、この講座の根拠である。